

本島通信

本島大教会 月次祭におけるご挨拶 (要旨)

【立教183年4月14日】

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)
 本島通信編集室 R.190418-0423-15
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)
 Email: news@honjima.com
 発行部数: 891部 (先月比±0)
 大教会 朝夕おつとめ時間
 【5月1日～5月31日】
 朝づとめ 午前6時15分
 タづとめ 午後7時00分

「心に理あれば よく真実の心受け取る。」

本島大教会長 片山幹太

かたやまかんた

世界的に大きなふしとなっている新型コロナウイルスの影響により、教会本部の月次祭では神殿講話が行われなかつたことになり、本日の講話はあ

りません。私からひと言ご挨拶を申し上げます。

今年は暖冬で、桜の開花も早いのではないかと言われておりましたが、4月に入ってから花冷えが続き、本日の大教会月次祭では参道の桜がちょうど満開の見ごろを迎えております。

天理時報3月22日号で、内統領の宮森与一郎先生より「全教の心を一つにおつとめを」と題してメッセージが掲載されました。新型コロナウイルスのさらなる感染拡大を防止するために、本部月次祭への一般参拝の自粛を要請する内容です。その中で、過去の事例

新型コロナウイルス感染拡大の終息をお祈り
申し上げるとともに、感染防止の取り組みに、
心を合わせて協力していきましょう。

について記されています。

「明治32年、日本で初めてペストが発生した折、行政から、感染予防のために本部秋季大祭の延期を求められたことがありました。そのとき伺ったおさ、いづ、では、祭典の延期をお許しくださる一方で、皆の真実の心を受け取るのお言葉に続いて、たとえ形のうえで立派に勤めても、皆の心がばらばらであつてはならないと、お仕込みいただいています。」

そのおさ、いづ、をご紹介します。
「一時そんならそつと世界理もある。皆こつと言つは、委せ置くによつて、延びようが、縮めようが構わん。心に理あれば、よく真実の心受け取る。真実勤めた処が、あちら向きこちら向き、そもそもではどうもならん。」

(おさ、いづ、明治32・11・23)

実はこのおさ、いづ、を頂く半年前、次のおさ、いづ、も頂いていました。これは神道本局より天理教会に一派独立してはどうかとお話がありその心得につい

て伺ったおさ、いづ、です。

「まあ一つ教会と言つて、順序世上世界の理に許し置いたる処、どうでもこうでも世上の理に結んであるからと言つて、世上の理ばかり用いてはならんで。」(おさ、いづ、明治32・5・30)

社会のきまりごとに従う教会を、世上世界の理に許してあるけれども、そればかりを用いてはならない、と仰せられています。
まず、月日親神様があつてこの世界あり、世界あつてそれぞれあるという順序の理を心に治め、神一条の精神からぶれないように心を養い、たすけ一条の御用の上に努めさせて頂きたいと思ひます。

そのためにはまず、お道の私たちが一手一つになることではないでしょうか。自分勝手に自己中心的な思案をするのではなく、親神様中心の一手一つを心がけましょう。

ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)



自分が変わる 自分から合わせる

4月大教会教会長会議

立教183年4月14日

大教会長 片山幹太

を変えること、自分が相手に合わせていくことを考えているからです。

例えば、おばあちゃんは日本からアメリカに渡って半世紀以上経ちます。もつと英語が上手になってもいいものを、自分が得意な英語ではなく、おばあちゃんが得意な日本語で話したい。おばあちゃんに合わせていきたいという心なのです。

また教えについても、英語に翻訳された書物もつとほしいということではなく、教祖が仰せられた言葉で教える学びたい、ということでしょう。

自分が変わる。自分の方から合わせるためという心遣いは、一手一つにない、周りの大切な要素だと思えます。

お互いは、つい周りが変わってほしい、周りが自分に合わせてほしいと考えがちですが、自分自身の心に矢印を向けて、自分から合わせていく、変わっていくことをしていきたいと思えます。

次に、ご本部へのお戻り教会についてです。

昨春秋、教会本部より、①教会長がない、②教会のお目標様がお許し頂いた場所がない、③教会につながる信者がいない、という3つの条件が揃っ

た教会について、ご本部へお戻り頂くのお話がありました。

その後、本島大教会として該当する教会について調査を行い、世話人先生とも話し合いを重ねてまいりまして、このたび4つの教会がお戻りになることとなりました。

ハワイシマ教会、本一枝分教会、黄浦江分教会、千尋分教会です。

5月12日にお目標様をご本部へ運ばせて頂きます。

そして内統領の宮森与一郎先生から、これが第一弾とするなら、第二弾のお戻り教会についてのお話もありました。

例えば、教会長はいるけれども長い間施設に入っていたり、行方不明であったりして、教会に不在である場合。この場合は、教会長がいることになり、ますので、今回のお戻り教会に該当しません。

また、お目標様はお許し頂いた場所にあるけれども、教会長はいない。信者も誰もいない。そのまま放置されている場合。これも今回のお戻り教会には該当しません。

これらの教会について、大教会や上級教会が大変苦心していることではあります。今後の教会活動としてな

なか復興が難しいケースとなります。

また名義上、上級教会の会長夫人や後継者が担任しているけれども、月次祭の日だけ教会に行つて祭典をつとめ、常時は鍵を掛けて締め切っている教会もあるでしょう。この場合、その教会を上級教会と統合した方が、教会活動に勢いがでるといふケースと言えます。

その教会につながる方々が勇める、元気におつとめを勤め、にをいがけおたすけに励もう、ひのきしんをさせて頂くという前向きな気持ちに変わることを目的として、教会をご本部へお戻り頂くことや、上級教会と統合していくことなどを、ご本部として相談にのつてくださるとのことです。

これら第二弾については、本年9月27日を期限として相談をさせて頂き、報告書を作成して、最終的には来年3月27日に「お預け願」を提出する運びとなります。

繰り返し申し上げますが、これは教会が活発に活動できるように、賑やかで元気になるための施策と存じます。

教会事情はそれぞれ異なります。どうぞ直轄教会を通じて、遠慮なく相談に来て頂けたらと思います。

(文責・本島通信編集室)

お話したいことは2つあります。まず一つ目。成人目標に「一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする」と掲げております。真柱様の祭典講話で仰せられたおさしづです。

皆が一手一つに心を結んでいくための心遣いについて、ご紹介したいお話があります。アメリカから天理へ語学留学に来ている、あるよう、よく、子弟が、日本語を学ぶ理由を二つ挙げました。

それは「日本からアメリカに嫁いでいたおばあちゃんもつと会話がしたい」といふことと、「教祖の教えを、教祖の言葉で学びたい」といふことです。

その理由を聞いて、私はとても偉いなど感心しました。その子は自分の心

四月月次祭 祭典役割

献饗長 大教会長
伝供 片山勲・井上哲・岩橋竜造・窪田靖明・篠原丕王・永山清明・向所隆文・吉田知彦・高島栄造・茶屋原良昭・山下英久・上山康雄・川村吉夫・白垣初生・大矢万三・後藤真也・佐々木徳太郎・片山好次・白垣俊生・片山昇太・長尾直太郎・横山富明
雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・長尾海和・岩橋守行
 (順不同)

祭主 指図方	大教会長		座りづとめ		てをどり前半		てをどり後半	
	大教会長	寺本教生	鷹者	片山勲	井上哲	贊者	岡崎八十則	雲庵春彦
地方	岡崎俊郎	窪田靖明	岩橋竜造	高島栄造	山下英久	大矢万三	雲庵春彦	岩橋守行
てをどり	大教会長	片山勲	大教会長	窪田靖明	岡崎八十則	片山美穂	長尾善絵	片山美穂
ちやんぼん	井上哲	岩橋慶三	吉田知彦	川村吉夫	白垣初生	吉田知彦	長尾海和	永山清明
拍子木	篠原丕王	向所隆文	茶屋原良昭	長尾海和	永山清明	茶屋原良昭	川村かず子	佐々木由江
太鼓	岡崎八十則	高垣光治	岩橋守行	雲庵春彦	片山美穂	井上みつの	高垣洋子	岩橋元実
すりがね	高垣光治	岩橋竜造	片山美穂	川村かず子	佐々木由江	岩橋元実	高垣洋子	岩橋元実
小鼓	片山勲	片山榮	片山美穂	川村かず子	佐々木由江	岩橋元実	高垣洋子	岩橋元実
三味線	片山勲	片山榮	片山美穂	川村かず子	佐々木由江	岩橋元実	高垣洋子	岩橋元実
胡弓	片山勲	片山榮	片山美穂	川村かず子	佐々木由江	岩橋元実	高垣洋子	岩橋元実
神殿講話	なし(大教会長のご挨拶のみ)							

四月月次祭祭文

立教百八十三年四月十四日

この神床にお鎮り下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太 慎んで申し上げます。

親神様には、陽気ぐらしを見て共に楽しみたいと、この世人間をお創め下さり、旬刻限の到来と共に、教祖をやしるに、この世の表にお現れになり、よろづ委細の真実と元を教えて、世界たすけの道をお啓き下さいました。以来、長の年限、変わることもなく、結構にお連れ通り頂く御高恩の程は、誠に有難く勿体ない極みでございます。

私共は、親神様の厚き御守護と、御存命で御働き下さる教祖のお導きを頂いて、日々勇んで御恩報じの道を歩ませて頂いておりますが、その中にも、教祖が寛政十年四月十八日御誕生遊ばされたゆかりの芽出度い月でございますので、只今からおつとめ奉仕者一同、慶び心の一つに、座りづとめ、てをどりを勤めて四月の月次祭を執り行わせて頂きます。

御前には、花冷えの中も厭わず帰り集い、日頃賜わる厚き御守護にお礼申し上げ、加えて、折からの世界中に蔓延する、新型コロナウイルス被害の一日も早い治まりを願う教え子達が、共におうたを唱和して、一層の御守護にお絶りする真実の状をご覧下さいますし、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

この度の未だかつてない世界の大師を乗り越

える御守護を頂くには、私共をはじめ、全教の心一つにして、親神様の思召にかなう「たすけ一条」に専心することであると存じます。

この上からも、日頃の情性や我が身勝手ではなく、おぢばに浴いきり、神一条の精神を求めて、日々を通して頂く決心でございます。此々に改めて、教祖がお通り下された「ひながたの道」を、しっかりと心に刻み、一手一つの歩みを進めさせて頂く所存でございます。

何卒、届かぬ点は幾重にもお仕込み下さいますして、互いに立て合いたすけ合う陽気ぐらしの世の状に、一日も早く立て替わりますよう、お導きの程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

入社祭

(立教183年4月14日)

入社祭はありませんでした。

4月14日(金)

【香川県丸亀市】

天候 晴
 最低気温 8.8℃
 最高気温 17.6℃
 平均気圧 1014.4 hPa
 平均湿度 52%
 平均風速 3.0 m/s
 日照時間 12.1 時間
 降水量 0.0 mm

本廣分教会5代会長就任奉告祭



本廣分教会(白垣初生会長、香川県丸亀市)では、1月26日のお運びで白垣初生氏の会長任命の理のお許しを戴いておりましたが、4月11日に大教会長夫妻を迎え(随行・片山勲役員)、5代会長就任奉告祭を執り行いました。



当日はうらかな晴天に恵まれ、本廣につながるよう、信者のほか、近隣の教友も集い、勇んだおつとめが勤められました。参拝者約25名。

挨拶に立った大教会長は、まず今日まで教会長として勤めて来られた白垣政義前会長夫妻にお労いの言葉を述べた上で、「初生会長は生まれるとき、大きなふしで出産が危なかったと伺っています。そしてこの奉告祭では、折からのコロナウイルス事情により、奉告祭を勤めることが困難な中、無事に勤めさせて頂く運びとなりました」と、誕生と奉告祭のふしを重ね合わせた上で、「教会長は、よっぽくの申のよう、よっぽくです。何があっても親神様と教祖の御心を悟ることができるよう」と、理づくりの大切さを述べられ、「よっぽくの使命は陽気ぐらしを伝え広めていくことです。親神様にお働き頂くためには、どのような心遣いが良いのか、

限られたおつとめ奉仕者で4月月次祭

本島大教会4月月次祭(4月14日)は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止する上から、遠隔地と高齢者の大教会への帰参移動を自粛することとし、おもに四国と中国地方の70才以下のおつとめ奉仕者により勤められました。

月次祭当日は、大教会参道の桜がちょうど満開の見ごろを迎え、こいのぼりも勢いよく泳ぐうらかな春

皆で話し合いながら、教会活動を活発にお勤め頂きたい」と述べられました。

白垣初生氏略歴

昭和42年1月3日生まれ。平成元年12月20日、おさづけの理拝戴。同年12月27日、修養科第582期修了。立教180年10月11日、教人資格講習会修了。同年11月15日、教人登録。立教182年5月18日、教会長資格検定合格。立教183年1月26日、本廣分教会5代会長拝命

の一日となり、参拝場の障子戸を大きく開いて冷ややかな風が通りぬける中、参拝場の結果を後方に下げて、おつとめ奉仕者は間隔を開けて着座し、熱心におつとめを勤めました。

予定していた神殿講話は、本部月次祭に準じて中止とし、大教会長のご挨拶のみ行われました。

本部4月月次祭は、つとめ人衆のみで執り行われることが発表されました。教会長はじめようっぽく、信者の皆さま



には、おちばへの帰参を控え、各教会・布教所・自宅などから遙拝させて頂きましよう。



事情はびび

立教183年4月、本島関係のお運びはありませんでした。

教人登録

(立教183年3月25日付)
 銀峰 永吉幹生
 (立教183年3月30日付)
 本田中 佐々木徳太郎
 以上

証拠守り下附

(立教183年3月分)
 栄森峰1、吉松峰1、肥後八峰1
 【計3名】

おさづけお取り次ぎ報告

(立教183年4月14日)
 提出教会 7教会
 報告数 459回
 累計 4,390回
 ※前年同月累計比 147.7回減

をびや許し

(立教183年3月分)
 ▼大隅聖峰△宮路かおり
 【計1名】

ろくぢ会

(立教183年4月分)
 ▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真美・幸太△藤山さちよ ▼樺太分教会 ▼本樺分教会 ▼本浜分教会△片山清枝・正枝・誠 ▼本攝分教会 ▼崇徳分教会 ▼ポートランド教会 △片山和信・陽子・昇慶
 ご芳志に厚くお礼申し上げます

大教会長動向

▼5月(予定) ▲
 12日、お戻り教会お目標様を本部教祖殿へお運び
 17日、本中國分教会前会長長20年祭、前會長夫人5年祭
 18日、本篠分教会
 会長就任奉告祭執行
 22日、大教会月次祭執行
 24日、修養科総立ちまなび
 25日、かなめ会委員会
 26日、本部月次祭参拝
 27日、かなめ会
 30日、31日、同朋分教会
 鎮座奉告祭執行
 以上

統計 (3月1日~31日)

教会名	初席	中席	まひ鐘	修養科	教人講習	検定講習
本島	1				1	
本田	1					
本都	1					
本九		1				
本吉						
本峰						
肥後八		1				
合計	5	2	0	0	1	0

にをいかけ名簿提出教会 (4月)

本島	5	崇徳	14	倉峰	4
本静	3	本新	2	吉松	32
本攝	3	赤峰	4	仙峰	32
本府中	4	豪峰	40		
計11教会			143名		



大教会こいのぼり20年

大教会神殿南側で悠々と泳ぐ大こいのぼりは、本島の初夏の風物詩となっていますが、今年で泳ぎ初めて20年となりました。

平成12年1月20日、片山幹太郎君(大教会長の長男)誕生を祝い、部内有志より寄贈されたこいのぼりは、吹き流しの長さが11メートル、黒鯉を先頭に5匹連なる最大サイズのもの。

毎年4月に吉野俊宏氏(82)が本島島内にある長徳寺のご厚意により孟宗竹を頂き、支柱を組み立てて設置しています。矢車や鯉の口は破損しやすく、その都度でいねいに修繕してきました。

コロナウイルスによる移動自粛で、大教会帰参に制限がありますが、今年もこいのぼりは元気に泳いでいます。



本島大教会よりお知らせ

【本島大教会】

新型コロナウイルス感染拡大防止の上から、下記の行事が変更になります。

- ◇GW 雅楽講習会(5/4-5) 中止
- ◇学生層育成者講習会(5/22) 延期
- ◇おかえり講話(6/26) 延期

5月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：5月21日～22日
- 派遣教会：本京②、琴浦①

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：5月25日～26日
- 派遣教会：安藝本中①、本九②

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

教会本部よりお知らせ

【新型コロナウイルス感染症への対応】

新型コロナウイルスが世界中に大流行し、国内では「緊急事態宣言」が発令され、海外でも国を挙げて感染拡大を防止する対策などが講じられています。こうしたなか、教会本部より「新型コロナウイルス感染症への対応」として下記の通り発表されました（4月20日編集時の情報です）

- ◇ 教会本部4月月次祭……………つとめ人衆のみで勤められます
- ◇ 立教183年こどもおちばがえり……………中止
- ◇ 南右第二棟・天理参考館・天理図書館……………臨時休館
- ◇ 天理教基礎講座……………4月20日より休講
- ◇ 教人資格講習会……………4月27日開講の受け入れ中止
- ◇ 教会長資格検定講習会……………4月27日開講の受け入れ中止
- ◇ 修養科……………5月1日始業の受け入れ中止
- ◇ 全教一斉ひのきしんデー……………会場に集まっての活動取り止め
- ◇ 三日講習会……………5月開講の中止
- ◇ 音研「第51回 弦楽教室演奏会」(5/10) 中止
- ◇ 音研「第46回 雅楽一手一つ」(5/24) 中止
- ◇ 音研「第60回 歌う一手一つ」……………11月22日に変更
- ◇ おつとめ研究室「小鼓教室」(4月・5月) 中止
- ◇ 婦人会「母親講座」(5月と6月26日) 中止
- ◇ 婦人会「みちのだい感話大会」(6/26) 中止
- ◇ 青年会「タグラグビー親里カップ2020」(5/5) 中止
- ◇ 青年会「おやさとふしん青年会ひのきしん隊」5月隊 中止
- ◇ 少年会実技勉強会 (4/26) 中止
- ◇ 少年会キャンプ実技勉強会 (4/27) 中止
- ◇ 少年会ピッキーひろば (5/3～5) 中止
- ◇ 布教部 第9回天理教グラウンド・ゴルフ大会 (4/27) 中止
- ◇ 布教部 第30回天理ドッジボールフェスティバル (5/17) 中止
- ◇ 布教部 新任教会長の集い (5/27～28) 中止
- ◇ 布教部 ひのきしんスクール (4/26～27) 中止
- ◇ 布教部 全教野球大会教区予選期間……………7月25日を9月10日に変更

最新の情報については、天理教ホームページでご確認ください

<https://www.tenrikyo.or.jp/yoboku/>

「One world, One family」

世界中の人間は一つの家族 たすけ合って困難を乗り越えよう

新型コロナウイルス感染症によって亡くなられた方々やそのご家族に対し、謹んで哀悼の意を捧げます。

現在、感染者の治療の最前線で懸命にご尽力くださっている医療従事者をはじめ、感染拡大防止に取り組んでくださっている多くの方々に、心から感謝の意を申し上げます。そして、罹患されている方々の一日も早いご回復と、すべての方々の安全をお祈りしています。

日本においてはもちろんのこと、世界中において、さらなる感染の広がりを食い止め、苦しむ方がこれ以上増えないようにするには、これから世界の国と国、そしてそこに住む人々が互いに心をつなぎ、共にたすけ合って、未曾有の困難を乗り越えていくことが求められています。

私たち一人ひとりの意識と行動が、周囲の人々はもとより世界全体の幸せにつながります。それぞれの地域における感染拡大防止の取り組みに、心を合わせて協力していきましょう。

天理教

天理教ウェブサイトより <https://www.tenrikyo.or.jp/>